

様式7

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	普通科普通第2学年 普通科国際コミュニケーションコース第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書 精選論理国語(東京書籍) 副教材 文学国語セレクション(東京書籍) 新訂五訂 カラー版新国語便覧(第一学習社) 国語常識のトレーニング 国語便覧ワークノート(第一学習社) 頻度順 入試漢字の総練習 三訂版(三省堂) 評論・小説を読むための新現代文単語 改訂版(いっぴく書店) 問題集 改訂版 力をつける現代文(標準演習)(数研出版) 進研WINSTEP 現代文2 新課程版(ベネッセ) 評論速読トレーニング1500(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1「ミロのヴィーナス」 2「分人とは何か」 3「メディアの変容」 4「文章を読み比べるために」 (「山月記」との読み比べ)	考查 課題テスト	考查 課題テスト 小テスト	週課題 振り返りシート 小テスト
	評価点	200点	200点	200点
後期	5「言語と記号」 (「相手依存の自己規定」との読み比べ) 6「『である』ことと『する』こと」 7「『である』ことと『する』こと」と「ところ」との読み比べ 8「地図の想像力」	考查 課題テスト	考查 課題テスト 小テスト	週課題 振り返りシート 小テスト
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1「ミロのヴィーナス」 ・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	20
	5	2「分人とは何か」 ・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	
	6	◆-----第1回考査	
		3「メディアの変容」 ・挙げられている事例と筆者の分析の關係に注意して読み、人間關係の在り方について考えを深める。	
	7	4「文章を読み比べるために」 ・文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。 (「山月記」との読み比べ)	
	8	・近代化の中での人間關係の変化や自己認識の在り方について比較し、李徴が虎になったのはどうしてか、を考える。	
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	5「言語と記号」 ・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。	15
	11	(「相手依存の自己規定」との読み比べ) ・具体的な事例と筆者の意見の關係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	
	12	6『『である』ことと『する』こと』 ・例示と意見の關係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。	
	1	◆-----第3回考査	
	2	7『『である』ことと『する』こと』と「ところ」との読み比べ	
	3	・近代日本社会における人間の価値の変化や精神性について、登場人物の心理的葛藤を捉えて考えを深める。	
		8「地図の想像力」 ・提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。	
		◆-----第4回考査	

5 その他

<ul style="list-style-type: none"> ・国語の力、とりわけ評論文の読解の力は、国語という教科の枠を超えた総合的な学力の基礎であることを生徒にも強く意識させ指導にあたる。 ・授業で出会った文章が契機となり、関連するテーマを扱った新書(評論文)を生徒が主体的に読むよう指導を工夫する。 ・読解の基本を確認しながら学習をすすめる。文脈における語意を捉えるといった、表現に即した丁寧な読解と、論展開を意識し主題をまとめるといった、全体の内容を大きく捉える読解の両方を大切に(部分と全体の往還)。 ・文章のテーマを、常に自己の問題として捉えることを大切に、さらに、小論文への接続、(総合的な探究)などの他教科との有機的なつながりを生徒に意識させ指導にあたる。 ・大学入試共通テストへの対応も念頭に、文学的文章と論理的文章との読み比べを行い、読解の一体的な指導を目指す。
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	3単位
		学年等	普通科普通(文型) 2年生 普通科国際コミュニケーションコース 2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 精選古典探究 古文編(三省堂) 精選古典探究 漢文編(三省堂)</p> <p>副教材 古文単語330(いわずな書店) 漢文必携チェックノート応用編(桐原書店)</p> <p>問題集 力をつける古文ステップ2(数研出版) 力をつける漢文ステップ2(数研出版) 進研 WINSTEP 古典2(ベネッセ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	古典に用いられている言葉の特徴や使い方などへの理解を深め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を効果的に使おうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』) 2. 史伝「鴻門之会」(『史記』) 3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』) 4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 5. 史伝「四面楚歌」(『史記』) 6. 小話「不顧後患」(『説苑』) 7. 物語「初冠」「小野の雪」(『伊勢物語』)	<p>考查 課題テスト 小テスト</p>	<p>考查 課題テスト</p>	<p>提出物 振り返りシート</p>
	評価点	200点	200点	200点

後期	8. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 9. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) 10. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 11. 物語「花山院の出家」「弓争い」(『大鏡』) 12. 史伝「完璧帰趙」「刎頸之交」(『史記』)	考查 課題テスト 小テスト	考查 課題テスト	提出物 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』) 当時の宮中の様子や筆者の立場を理解し、随筆に表現された筆者の考え方や価値観を読み取る。	30	
	5	2. 史伝「鴻門之会」(『史記』) 作品の背景を理解し、それぞれの登場人物の立場や役割を読み取る。		
	6	3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』) 随筆に表現された筆者の考え方を読み取る。 ----- 第1回考查 -----		
	7	4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 日記に表現されたできごとと、作者の心情を読み取る。	20	
	8	5. 史伝「四面楚歌」(『史記』) 登場人物の性格や心情、考え方を読み取る。		
	9	6. 小話「不顧後患」(『説苑』) 作品の内容を理解し、小話のもつ面白さを読み取る。 7. 物語「初冠」「小野の雪」(『伊勢物語』) 物語中の和歌の役割について理解し、物語に描かれた人間のありようを考える。 ----- 第2回考查 -----		
	後期	10	8. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 物語の設定や、構成、展開を理解し、登場人物の心情を読み取る。	25
		11	9. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) それぞれの文章に表現された主張を読み取る。	
		12	10. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 儒家と道家、それぞれの考え方を読み取り、思想の違いを理解する。 ----- 第3回考查 -----	
1		10. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 儒家と道家、それぞれの考え方を読み取り、思想の違いを理解する。	30	
2		11. 物語「花山院の出家」「弓争い」(『大鏡』) 同じ題材を扱った物語を読み比べ、物語の多様性について考える。		
3		12. 史伝「完璧帰趙」「刎頸之交」(『史記』) 作品の背景を理解し、それぞれの登場人物のおかれた立場や心情を読み取る。 ----- 第4回考查 -----		

5 その他

古典作品には、現代とは異なる文化や価値観の中で、人々がどのように生き、考えてきたのかが表れている。多くの古典作品を読むことで、当時の人々の心情や価値観を理解するとともに、現代を生きる自分自身や日本人の価値観についても深く考えさせたい。古文では『源氏物語』『枕草子』など中古を中心とした作品、漢文では、『史記』を中心に、本格的な古典作品を学習する。1年生で学習した語法、語彙等に関する基礎事項を踏まえながら、正確な訳出、解釈に必要な知識を段階的に学習し、確かな基礎力につなげていく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2単位
		学年等	普通科普通(理型) 2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(4) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(5) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(6) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 精選古典探究 古文編(三省堂) 精選古典探究 漢文編(三省堂)</p> <p>副教材 古文単語330(いっずな書店) 漢文必携チェックノート応用編(桐原書店)</p> <p>問題集 力をつける古文ステップ2(数研出版) 力をつける漢文ステップ2(数研出版) 進研 WINSTEP 古典2(ベネッセ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	古典に用いられている言葉の特徴や使い方などへの理解を深め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を効果的に使おうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』) 2. 史伝「鴻門之会」(『史記』) 3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』) 4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 5. 史伝「四面楚歌」(『史記』) 6. 小話「不顧後患」(『説苑』)	考查 課題テスト 小テスト	考查 課題テスト	提出物 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点

後期	7. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 8. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) 9. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 10. 物語「花山院の出家」(『大鏡』) 11. 史伝「完璧帰趙」(『史記』)	考查 課題テスト 小テスト	考查 課題テスト	提出物 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』) 当時の宮中の様子や筆者の立場を理解し、随筆に表現された筆者の考え方や価値観を読み取る。	20	
	5	2. 史伝「鴻門之会」(『史記』) 作品の背景を理解し、それぞれの登場人物の立場や役割を読み取る。		
	6	3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』) 随筆に表現された筆者の考え方を読み取る。 ----- 第1回考查 -----		
	7	4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 日記に表現されたできごとと、作者の心情を読み取る。	13	
	8	5. 史伝「四面楚歌」(『史記』) 登場人物の性格や心情、考え方を読み取る。		
	9	6. 小話「不顧後患」(『説苑』) 作品の内容を理解し、小話のもつ面白さを読み取る。 ----- 第2回考查 -----		
	後期	10	7. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 物語の設定や、構成、展開を理解し、登場人物の心情を読み取る。	17
		11	8. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) それぞれの文章に表現された主張を読み取る。 ----- 第3回考查 -----	
		12	9. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 儒家と道家、それぞれの考え方を読み取り、思想の違いを理解する。	
1		10. 物語「花山院の出家」(『大鏡』) 同じ題材を扱った物語を読み比べ、物語の多様性について考える。	20	
2		11. 史伝「完璧帰趙」(『史記』) 作品の背景を理解し、それぞれの登場人物のおかれた立場や心情を読み取る。		
3		----- 第4回考查 -----		

5 その他

古典作品には、現代とは異なる文化や価値観の中で、人々がどのように生き、考えてきたのかが表れている。多くの古典作品を読むことで、当時の人々の心情や価値観を理解するとともに、現代を生きる自分自身や日本人の価値観についても深く考えさせたい。古文では『源氏物語』『枕草子』など中古を中心とした作品、漢文では、『史記』を中心に、本格的な古典作品を学習する。1年生で学習した語法、語彙等に関する基礎事項を踏まえながら、正確な訳出、解釈に必要な知識を段階的に学習し、確かな基礎力につなげていく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	文学探究	単位数	2単位
		学年等	2年生 文系(選択者)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	①文学的な文章の読解を通じて、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深める。 ②仲間との協同的活動を通じて、他者を意識した表現力を高めるとともに、自己の思いや考えを広げ、論理的思考力や豊かな想像力を伸ばす。 ③さまざまな文学的な文章の読解を通じて、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	・1年次に使用した教科書「現代の国語」(第一学習社)、「言語文化」(第一学習者)の継続使用 ・「文学国語セレクション」(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	言葉の、想像や心情を豊かにする働きを理解し、情景や心情を表現する語句を増やそうとし、さらに、文学的な文章に親しみ、文章の特徴、修辞などの表現技巧について積極的な理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の2領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を培い、他者との関わりを通じて、独創的な創作や説得力のある文章表現を工夫して行おうとしている。	文学的な文章の読解を通じて、他者や社会への理解、自他の存在についての理解を深めようとし、読書のみならず、様々な表現活動への興味関心、理解を深め、意欲的に関わろうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 近代小説の作品、作家研究 ・芥川龍之介の作品『地獄変』『芋粥』『鼻』を中心とした近代小説の作品研究と作家研究	レポート提出 個人レポート	レポート提出 個人レポート グループ発表	レポート提出 個人レポート 振り返りレポート
	2 戦争文学の読解と鑑賞 ・田宮虎彦の小説『沖繩の手記から』を中心とした、戦争文学の読解と鑑賞			
	評価点	100点	100点	100点
後期	3 近代詩歌の研究 ・三好達治、中原中也、吉野弘らの詩を中心とした近代詩と短歌、俳句の研究と創作	レポート提出 個人レポート	レポート提出 個人レポート グループ発表	レポート提出 個人レポート 振り返りレポート
	4 文学作品を通じた「近代」の特質の探究 ・夏目漱石の『こころ』の読解、作品研究、作家研究と、評論『である』ことと『する』こととの読み比べ。			
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数		
前期	4	1 近代小説の作品、作家研究 ・芥川龍之介の作品『地獄変』『芋粥』『鼻』を中心とした近代小説の作品研究と作家研究 ①『地獄変』のモチーフとなった宇治拾遺物語「絵仏師良秀」(言語文化教材)と読み比べる ②『羅生門』や『地獄変』と同様の、王朝物と呼ばれる芥川龍之介の他の作品『鼻』『芋粥』と読み比べる 書評を作成する ③同様の、古典を題材にした中島敦『山月記』と漢文「人虎伝」との読み比べ ④芥川龍之介の作家としての活動をまとめ、作品との関連について考察する 芥川龍之介の作家研究を通じて、近代文学の流れを俯瞰する、夏目漱石との関係にも留意する。 ◎古典作品を現代的に理解し、表現することについて考察する	20		
	5				
	6				
	7				
	8			2 戦争文学の読解と鑑賞 ・田宮虎彦の小説『沖縄の手記から』を中心とした、戦争文学の読解と鑑賞 ①田宮虎彦の小説『沖縄の手記から』を読解し、戦争中の生き方を捉え、人間の生と死について考察する。 ②他の戦争(原爆)文学(井伏鱒二、林京子、野坂昭如等)と読み比べる ③田宮虎彦のほかの作品と読み比べる ◎戦争文学を通じて、広く平和の意味を考察する	15
	9				
	後期	10	3 近代詩歌の研究 ・三好達治、中原中也、吉野弘らの詩を中心とした近代詩と短歌、俳句の研究と創作 ①三好達治、中原中也、吉野弘詩を読解し、作者の心情やその表現方法について考察する 鑑賞文を作成する ②①の詩人の他の作品や、同時代の他の詩人の詩を調べ、近代詩について考察する ③身近な韻文(歌詞など)を取り上げて、詩(韻文)の表現の特質について理解を深める ④詩、短歌、俳句を創作し、作品解説も作成する	15	
		11			
12					
1		4 文学作品を通じた「近代」の特質の探究 ・夏目漱石の『こころ』の読解、作品研究、作家研究と、評論『『である』ことと『する』こと』との読み比べ。 ①小説『こころ』の作品研究 ②評論『『である』ことと『する』こと』(論理国語教材)との読み比べ 明治時代の文明開化の特質について探究する ③「近代」における「自己」の問題が、小説においてどのように描かれているかを考察する ◎第1回での芥川龍之介、中島敦とも関連させて1年間の学習を総括する。 評論文で常に話題、問題となる「近代」を、文学作品を通じて考察し、論理国語や、3年次でのより発展的で深い学習への足がかりとする。	20		
2					
3					

5 その他

・「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「古典探求」とも関連させながら、一体的な学習を進める。